

目次

田上時子のエッセイ 政治家の品格……………	1
特集 田上時子インタビュー メディア・リテラシー……………	2～3
活動報告 スター・ペアレンティング事業活動報告/メグさんの講演会報告……………	4
田上時子が郵政事業株式会社に表彰されました……………	5
エルコラム④ 「情報事業」/定例総会報告……………	5～6
講座インフォメーション……………	6
リレーエッセイ 山中知子/山田恵……………	7
会員の紹介・入会のおさそい……………	8
編集後記……………	8

田上時子のエッセイ

政治家の品格

たまたまテレビをつけたのが、毎日放送の新番組「久米宏のテレビってヤツは!？」エンディング間際だった。久米宏の「今の世相でテレビができることって何か？」という間にゲストコメンテーター（おしゃべり仲間）姜尚中が「メッセージを伝えようとしないで、おかしいと思うことを口にする（話題にすること）」といった発言が印象に残って、翌日、番組をネット検索した。

プロデューサーの中野伸二は「これはいわゆる報道番組ではありません。事件・事故・政治などのニュースをストレートに伝えることが目的ではないのです。（中略）ただ番組では、時々話題をメディアはどう伝えているのか、人々にそれがどんなふう伝わっているのかに興味を持ちたいのです。（中略）世の中にはいろんなモノの見方があるものだなあと、オトナたちが知的遊びゴコロを満足させられたら本望です」と企画意図を述べている。

食品偽装、年金、貧困、異常気象、通り魔事件、後期高齢者医療制度、突然の首相の辞任、公務員の横領、企業の不祥事、経済問題等、毎日難題山積しているなかで、どのニュース番組も同じ内容を繰り返し報道し、ありき

たりのコメントにうんざりしていたので、この新番組に期待したいが、さて。

それにしても、世論は小手先でない抜本的な変革が必要だと感じているのは明らかであるにも関わらず、総選挙で国民の審判を仰がずに3代も首相が交代する日本の政治は全くもっておかしい。「わたしが解散を決めます！」と我欲の首相を持つ国民も不幸だ。

「人の上に立つ者は私利私欲を捨てて正道を歩め」と説いたのは明治政府の参議の職にあった西郷隆盛である。

西郷の言葉を、庄内藩有志の手によってまとめた『南洲翁遺訓（なんしゅうおういくん）』の遺訓30条には次のようにある。

「命もいらぬ、名もいらぬ、官位も金もいらぬ人は、始末に困るもの也。この始末に困る人ならでは、艱難（かんなん）を共にして国家の大業は成し得られぬなり」。

命もいらぬ、名もいらぬ、官位もいらぬ、金もいらぬというような人は処理に困るものだ。だが、このような手に負えない大人物でなければ、困難を一緒に分かち合い、国家の仕事を大成することはできないということだ。